

平成16年8月6日

近畿日本鉄道株式会社

内部・八王子線車両の車体塗装色変更についてのお知らせ

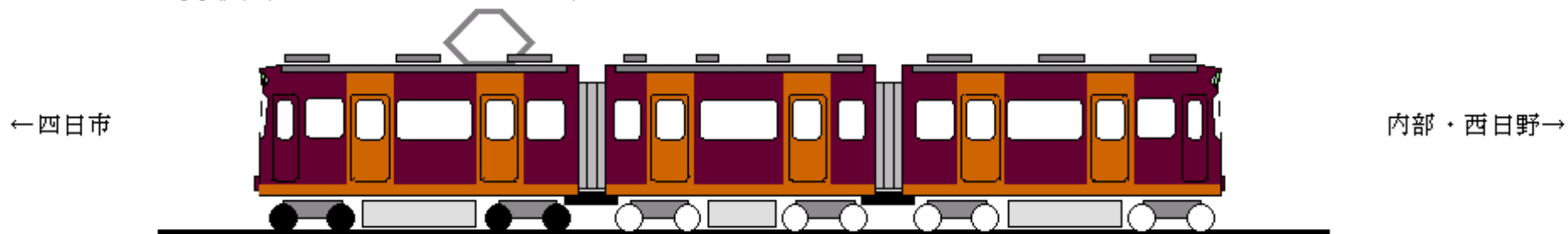
当社内部・八王子線は、大正元年に三重軌道により開業し、以来90年余りにわたり受け継がれてきた歴史のある路線で、全国的にも珍しい特殊狭軌（レールの間隔が762mm、名古屋線などの標準軌1435mmの約半分）を採用しています。

当線がこれからも、四日市市を中心とした地域のお客様に親しんでいただけるよう、このたび沿線の保育園、幼稚園に通園のお子様のご意見を参考に、内部・八王子線車両、14両の車体塗装色を「楽しく」「元気に」なれる7色に順次変更することといたしましたので、お知らせいたします。

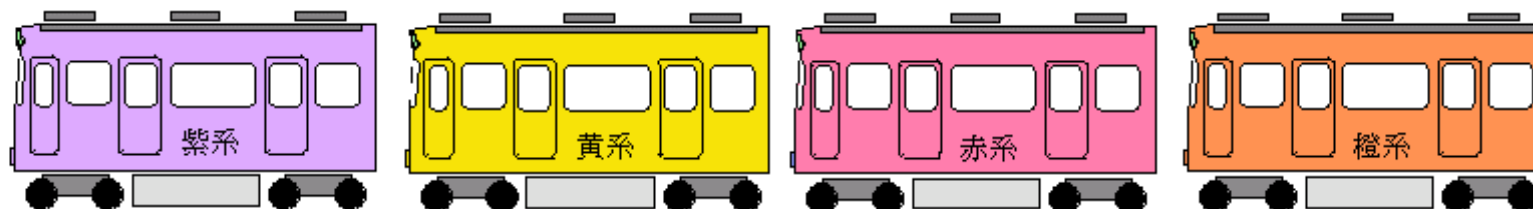
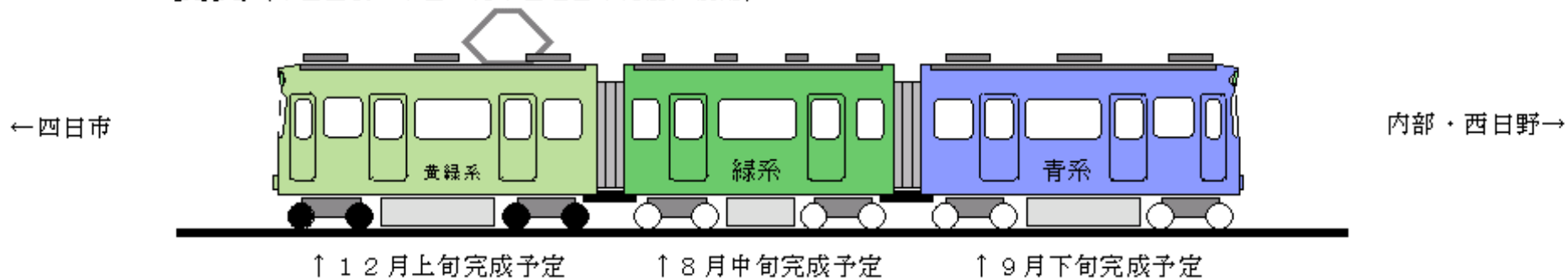
1. 運行開始日 平成16年8月18日（水）～（全車完了 平成20年5月予定）
塗装は1両ずつ、順次行い平成16年12月上旬に1編成（3両）が完成します。
2. 対象車両 内部・八王子線車両 14両
3. 変更内容
 - （1）現 状 2色塗装 マルーンレッド、オレンジ
 - （2）変 更 1色塗装 7色（内1色を各車両別に使用）
 - ・7色は、楽しく、元気になる「赤、橙、黄、黄緑、緑、青、紫」系の基本色に近い色を選び、色調はパステル調のソフトなカラーとし、甘美で優しい中にも都会的なイメージを演出しました。
 - 赤系（柔らかく紫系のピンク）-- 沿線にある泊山公園や鶉の森公園の桜をイメージ。
 - 橙系（明るい赤系の橙）-- 晴れやかで陽気。ウキウキする楽しい気分を表現。
 - 黄系（浅い黄）-- 沿線のほんのりとした暖かさ、柔らかい春の陽だまりをイメージ。
 - 黄緑系（うすい黄緑）-- 沿線の神社仏閣の境内に広がる透き通るような清らかさをイメージ。
 - 緑系（明るい緑）-- 沿線の公園、茶畑の緑、吹き抜ける心地よい風をイメージ。
 - 青系（明るい青）-- 沿線の内部川、天白川と抜けるような青空をイメージ。
 - 紫系（浅い紫）-- 紫は古くから高貴な色とされ、沿線の歴史を表現。
4. その他
 - （1）塗装色、完成時期につきましては、若干変更する場合がありますのでご了承ください。
 - （2）1編成（3両）完成（平成16年12月上旬）後、今回ご協力いただきました保育園のお子様をご招待し試乗会を行います
 - （3）次回、編成の塗装色組み合わせについても、沿線の保育園、幼稚園のお子様のご意見を参考に進めていきます。

以上

現状 (マルーンレッド+オレンジ)



変更 (1色塗装 7色 内1色を各車両別に使用)

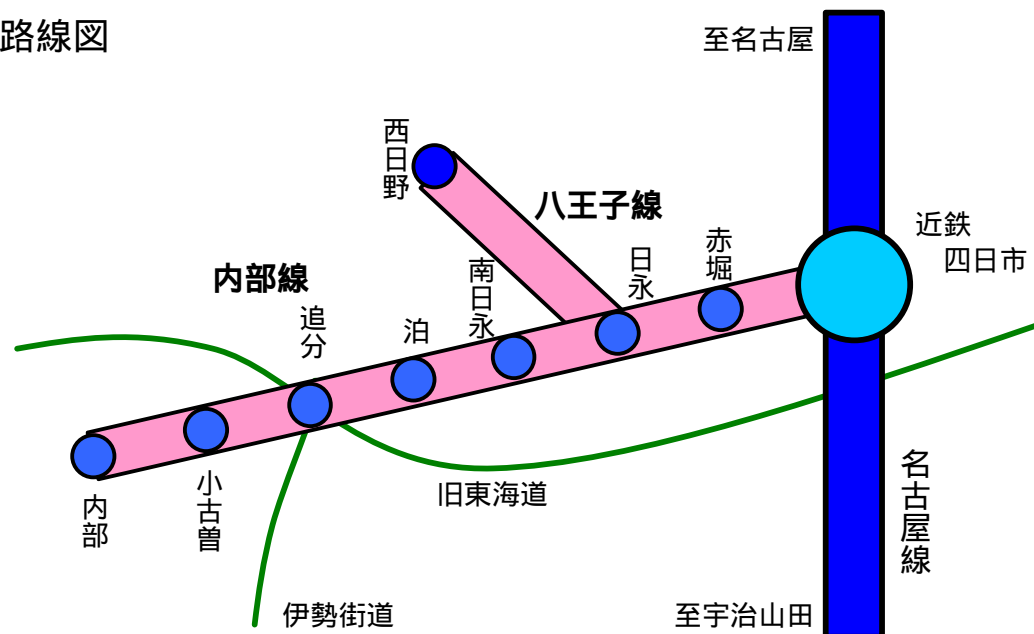


・次回、塗装の組み合わせについても、上記7色より沿線の保育園、幼稚園のお子様のご意見を参考に進めてきます。

(注意) 本紙の塗装色はイメージで、実際の車両塗装色とは若干異なりますのでご了承願います。

内部・八王子線 概要

路線図



内部線は旧東海道沿いに四日市から内部まで5.7kmを軌間762mmで結ぶミニ路線です。途中の追分駅はその昔東海道と伊勢街道との分岐点として、多くの人々の往来があったところです。また日永駅からほぼ西へ1.3kmの八王子線の終点、西日野駅付近は、伊勢の製糸業発祥の地として知られています。なお昭和51年に西日野 - 八王子間1.6kmを廃止しましたが、今でも線名にその名を残しています。

沿革

明治 43年	三重軽便鉄道創立
44年	三重軌道と改称
大正 元年	八王子 南浜田間蒸気機関車により開業
4年	国鉄四日市乗入れ
5年	三重鉄道となる
11年	日永 内部間開通
昭和 3年	諏訪 国鉄四日市間廃止 ガソリンカー運転開始
18年	内部線電化完成
19年	三重交通に統合される
23年	八王子線電化完成
40年	三重電気鉄道を経て近畿日本鉄道に合併
51年	西日野 八王子間廃止
57年	260系運転開始

